

10月 外国人観光客の売上高・来店動向

平成22年11月12日

■ 調査対象店舗 : 21社41店舗 (外国人観光客誘致部会委員店)

■ 調査品目 : 主力商品である化粧品・食品等は、免税手続き対象外のため含まれず。

1.免税手続きベースの売上および対前年比

◆ 売上高総額 (41店舗) …… 16億895万円余 (1店舗平均: 約3,924万円)

◆ 売上高前年比 (41店舗) …… 93.0% (店舗数調整後)

2.免税手続きベースの購買客数および対前年比

◆ 購買客数合計 (41店舗) …… 23,537人 (1店舗平均: 574人)

◆ 購買客数前年比 (41店舗) …… 87.6% (店舗数調整後)

3.免税手続き一人当たりの購買単価

◆ 一人当たりの購買単価 (41店舗) …… 68,358円

◆ 一人当たりの購買単価前年比 (41店舗) …… 106.2% (店舗数調整後)

4.外国人観光客に人気のあった商品

第1位 婦人服 (バーバリーブルーレーベル、アニエスb、カーディガン)

第2位 婦人服飾雑貨 (婦人靴、アクセサリ、ハンカチ、ストッキング)

第3位 ハイエンドブランド (エルメス、フェンディ、ルイ・ヴィトン、グッチ)

第4位 子供服・雑貨 (コーナークムデギャルソン、ミキハウス、カットソー)

第5位 化粧品 (資生堂、SKII、アルピオン、ファンケル)

- ◆ 相変わらず中国のお客様の購買意欲が旺盛である。国慶節の連休にあわせて、中国人コンシエールジュ 1 名を配置。中国、台湾等のお客様 176 組を接客し 600 万円のお買い上げに繋がった。(札幌)
- ◆ 円高の影響のためお得感がなくなっているせいか、以前と比べると、ハイエンドブランドの買い上げが減っているようにも感じるが、Web 等で事前に情報収集をしてから購入される方の単価は、依然として高く、纏め買いされる場合も多い。(札幌、銀座、名古屋)
- ◆ 梅田地域で銀聯カードの利用促進キャンペーンを行い、好評だった。(大阪)
- ◆ 資生堂の人気は高く、纏め買いの傾向が続いている。(札幌、東京、福岡)

5.免税手続きカウンターの来店国別順位

第 1 位： 中国本土 第 2 位： 台湾 第 3 位： 韓国 第 4 位： 香港

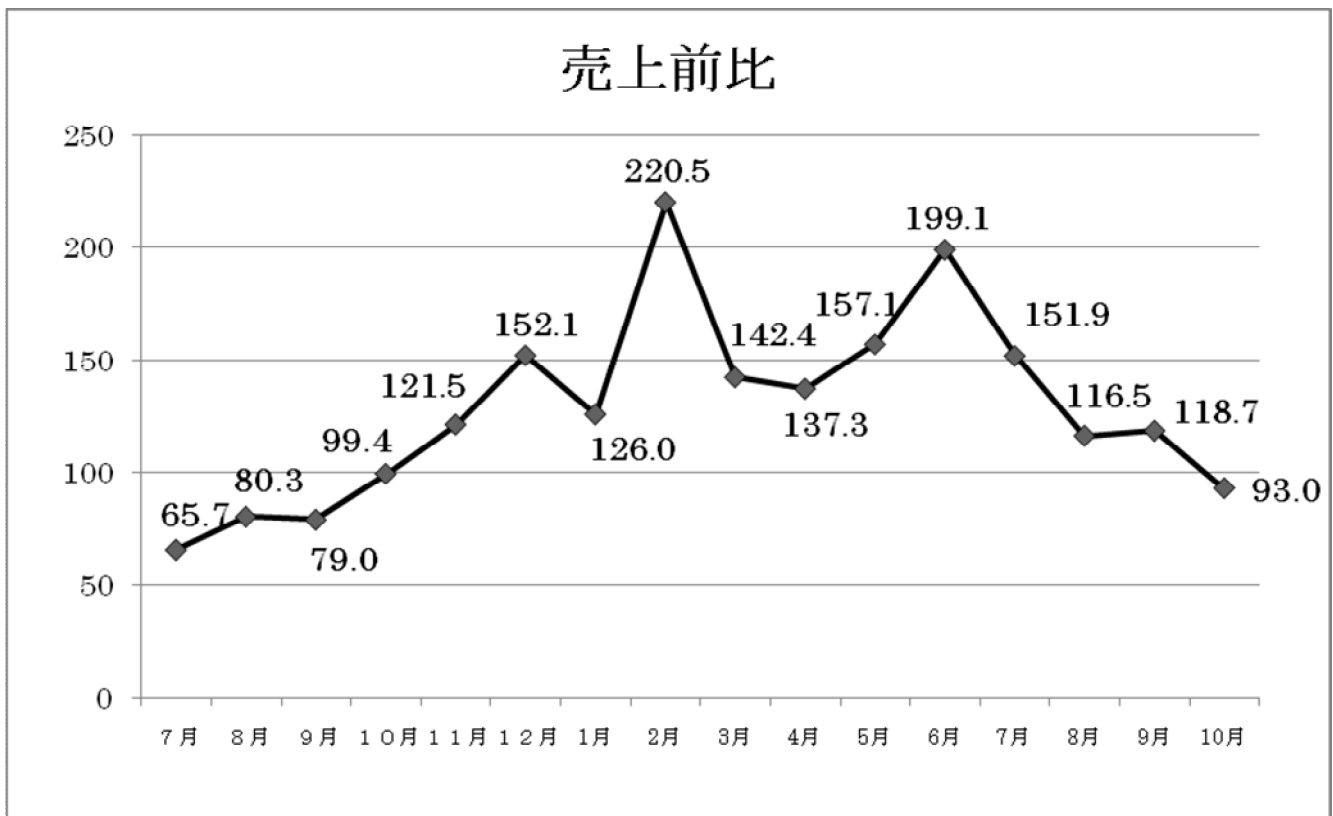
第 5 位： シンガポール 第 6 位： マレーシア 第 7 位： タイ

6. 今月の概況他

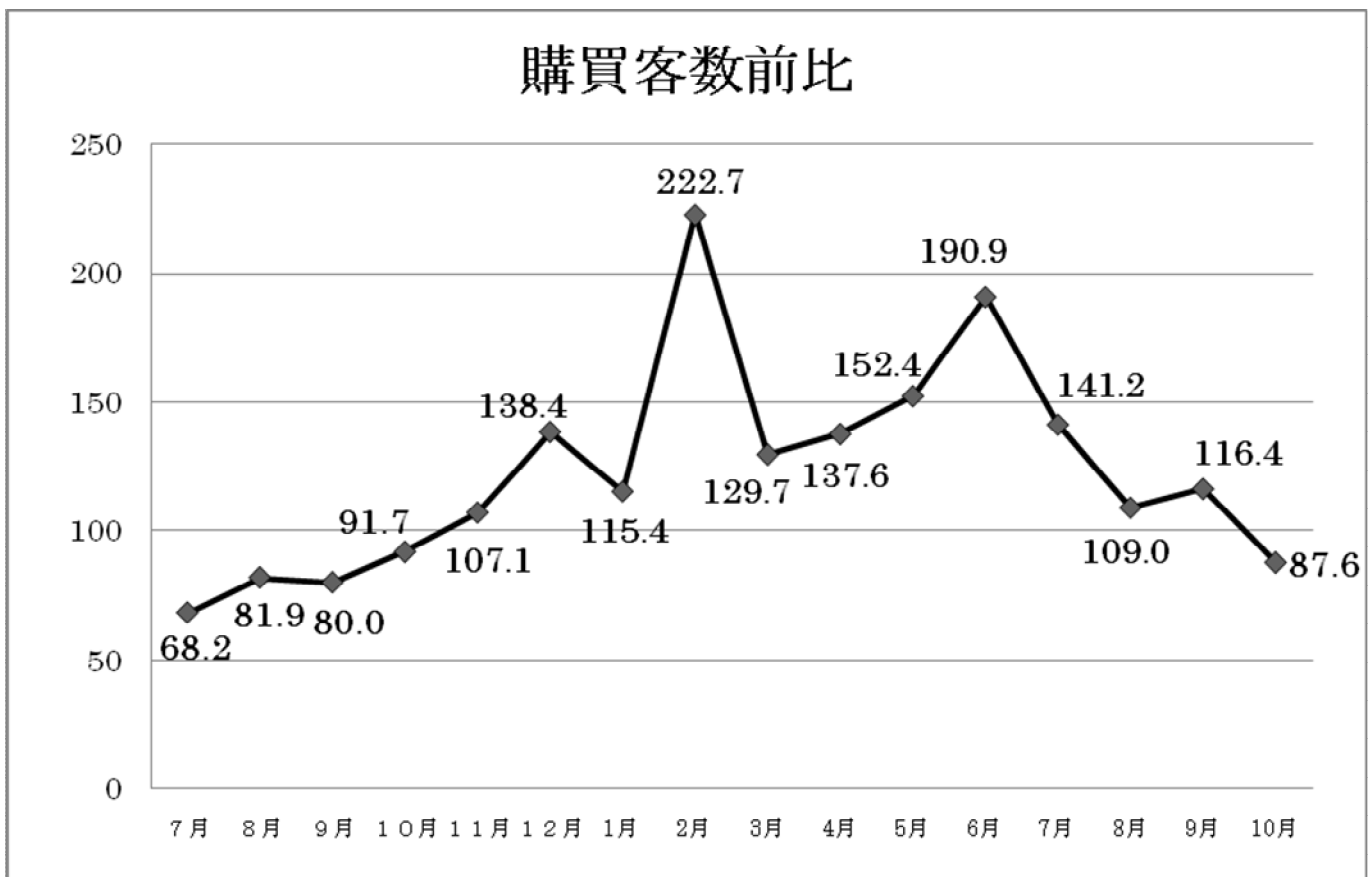
- ◆ 夏場から続く円高の加速等により、売上、客数とも昨年比を若干下回ったが、41 店舗中 16 店舗がプラスに転じた。外国人の訪日数と連動する動きになっているため、当部会では、当然の結果と受け止めている。
- ◆ インバウンドビジネスは、一般に為替変動（円高）、流行性の疫病（インフルエンザ）等が発生する都度、一時的な収縮傾向を示すが、政府の訪日促進政策では、それを織り込んだ上で、長期展望にたった計画がたてられているので、その政策に則って着実に実行していきたい。

以上

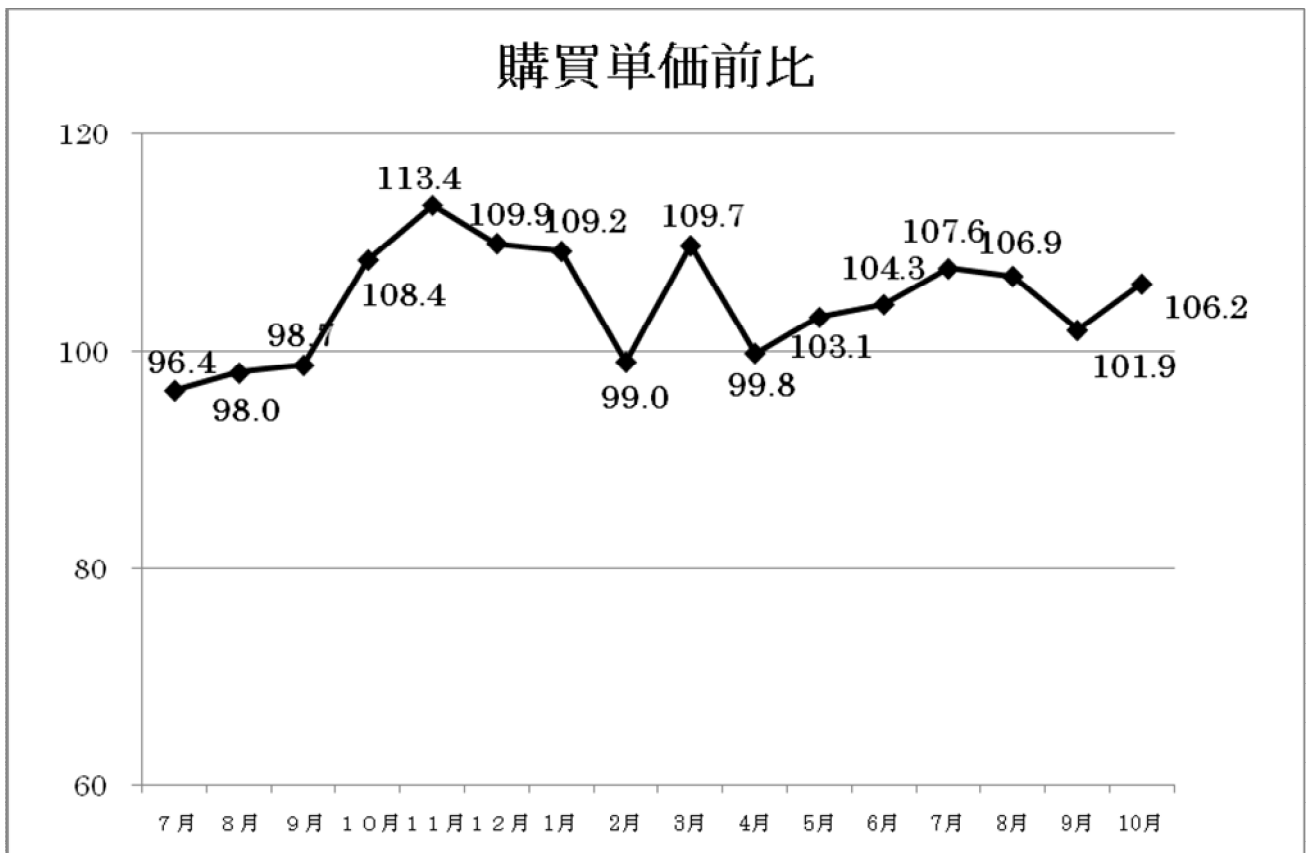
売上前年比 (%)



購買客数前年比 (%)



購買単価前年比 (%)



【お問合せ先】

日本百貨店協会・外国人観光客誘致事業担当（無断転載を禁じます）

TEL：03-3272-1666